

苓北町の未来を拓く、新たな教育の羅針盤

苓北町教育大綱



令和8年2月
苓北町

目 次

I	はじめに	1
II	大綱の位置づけ	1
III	期間	1
IV	最終目標（まちづくりの実現）	1
V	基本理念（羅針盤）	2
VI	目指す子供像・町民像（目的地）	2
VII	教育施策の方向性（6つの基本目標：多様な航路）	2
	1 苓北の未来を拓く、特色ある義務教育学校の創生	2
	2 子供たちが学び育ちあう学校環境の充実と深化	3
	3 ふるさと苓北の「人・海・文化」が育む学校づくり	4
	4 多様な学びが響き合う「教育のまち・苓北」のネットワーク構築	4
	5 自分のよさを輝かせ、多様な人々と共にたくましく未来を拓く人材の育成	4
	6 豊かな人生と活気ある地域を創る「生涯学びのサイクル」の構築	5
VIII	結び（未来への指針）	5

I はじめに

わが国では、長期にわたる少子高齢化・人口減少が進行するとともに、グローバル化や急速な技術革新、予測困難な未来社会の到来（VUCA）など、社会情勢は激しく変化しています。このような状況は、地域間の格差を生む要因となっており、教育現場においては、いじめや不登校への迅速な対応、教職員の確保や働き方改革など、多様な課題への対応が求められています。

一方で、一人一人の可能性を最大限に引き出す「特別支援教育の充実」や、新しい時代の学びを支える「ICTの活用」は、これからの教育を推進する上での重要な柱となります。また、子供たちを取り巻く環境も変化しており、自然体験や社会体験の不足、人間関係の希薄化などが指摘される中で、家庭や地域と連携した教育力の維持・向上が不可欠となっています。

教育は子供たちが安心して笑顔で育ち、持続的で活力あふれる地域の未来の基盤を創るものであり、苓北町が町政方針として掲げる「人が輝き地域が輝く まちづくり」の実現に向けて欠かすことはできません。わが町においても、この激しい変化の時代において、「すべての子供たちが未来を幸せに生きていくために必要な力を育み、多様な人々と共に変化を乗り越え、社会の一員として豊かで充実した人生を送ることができる基盤を育む」という重要な役割を教育が担っていると認識しています。

今後、本大綱に基づき、子供を真ん中に据えた新しい時代に即した施策を積極的に展開し、教育の総合的な推進を図ってまいります

II 大綱の位置づけ

本大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定に基づき、本町の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱として定めるものです。苓北町教育委員会の「ふるさと苓北を愛し、ふるさと苓北を大切に作る心と態度を育む」という基本目標を基盤とし、本町の教育行政の総合的な指針を策定します。今後、国や県の教育行政、地域の皆様、関係団体等多くのパートナーと連携し、一丸となって、苓北町の新時代を創る人材の育成に取り組んでまいります。

III 期間

令和8年度（2026年度）から令和12年度（2030年度）までの5年間とします。なお、本町の最上位計画である苓北町第7次振興計画が令和10年度に終了することから、同振興計画の改訂作業と合わせ、本大綱も見直すこととします。

IV 最終目標(まちづくりの実現)

「人が輝き 地域が輝く まちづくり」の実現を目指します。町民一丸となって「夢と活力、優しさに満ちた苓北」を創造していきます。

V 基本理念(羅針盤)

苓北町における教育の根幹は、子供たちが郷土への深い愛着と誇りを持ち、未来を切り拓く力を育むことにあります。「ふるさと苓北を愛し、ふるさと苓北を大切にする心と態度を育み、個人の尊厳を重んじ、豊かな人間性と創造性を備えた、未来を切り拓く人づくり」を基本理念とします。

VI 目指す子供像・町民像(目的地)

基本理念の実現に向け、以下の2つの像を設定します。

1 未来を創造する人

学ぶ喜びを感じ、自立し、多様な人々と協働しながら、未来を主体的に創造し、社会に貢献できる苓北の子供と町民

2 ふるさとを愛する人

ふるさと苓北に誇りと愛着を持ち、地域社会の発展に寄与する苓北の子供と町民

VII 教育施策の方向性(6つの基本目標:多様な航路)

基本理念の実現と目指す子供像・町民像の達成に向け、「こどもまんなか」の視点(子供が幸せに過ごせるよう当事者の意見を取り入れる視点)から、以下の6つの基本目標を強力に推進します。

1 苓北の未来を拓く、特色ある義務教育学校の創生

苓北町の未来を見据え、「苓北ならではの」の特色を活かした質の高い学びの場としての義務教育学校の開校に向け、教育環境と体制の基盤整備を強力に推進します。これにより、地域と共にある学校として、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を高い次元で実現できる教育環境を創出します。

(1) 義務教育学校の開校に向けた教育体制の最適化

将来にわたって子供たちが切磋琢磨し、多様な考えに触れ合える適正な集団規模を確保するため、学校再編と施設整備を計画的に進めます。新しい学校が地域コミュニティの核となり、安全で質の高い教育活動が行えるよう、ハード・ソフト両面から最適な教育基盤を整えます。

(2) 義務教育学校のモデルとなる教育活動の先行展開

義務教育学校の開校を見据え、小学校と中学校の円滑な接続を図るためのカリキュラム開発や、教職員の相互交流を積極的に推進します。義務教育9年間を一貫したスパンで捉え、子供たちの発達段階に応じたきめ細かな指導体制を先行して構築し、新校のモデルとなる教育活動を展開します。

(3) 小規模校の特性(複式学級等)を活かしたきめ細かな教育支援の充実

複式学級等を有する学校においては、少人数だからこそ可能な一人ひとりに寄り添った個別最適な学びを徹底します。ICTを効果的に活用した他校との合同授業等による柔軟な指導体制を確保することで、どの学校にいても「特色ある学び」を享受でき、可能性を最大限に伸ばせる環境を支援します。

2 子供たちが学び育ちあう学校環境の充実と深化

子供たちが互いに個性を認め合い、切磋琢磨しながら成長できるよう、時代の変化に対応した教育環境の整備を推進し、次の学校を目指します。

目指す学校像

- 子供たちが学び育ちあう学校
- 教師も教育の専門家として学び育ちあう学校
- 保護者・地域住民も学校の改革に参加して学び育ちあう学校

9年間を通して、子供たちが安心して学び合える学校環境（場づくり・環境づくり・関係づくり）を創造します。

学校づくりの理念として、「誰一人取り残さない学び」を保障します。そのために、子供同士が「学び合い育ち合う教室」環境をつくり、「聴き合い、学び合う学習」及び、同僚性のある「学び合い育ち合う教職員」集団として最大限の教育効果を目指します。

(1) 個別のニーズに応える「誰一人取り残さない学び」の保障

すべての子供が学びの主役となり、「探究と協働」を中心とした学習を充実させて、一人一人のよさが輝く教育を充実させます

(2) 多様性を認め、共に「学び合い育ち合う教室」の創造

学力向上のみならず、豊かな人間性や社会性を育む場として、子供たちが互いに認め合い、高め合える集団づくりを推進します。いじめを許さない温かな人間関係を基盤に、対話や協働を通じて新しい価値を共に創り出す、活力ある教室環境を構築します。

(3) 情熱を持ち、共に「学び合い育ちあう教職員」の組織づくり

子供たちの最善の利益を追求するため、教職員自らが研鑽を積み、最新の知見や実践を共有し合う「同僚性のある学び続ける組織」を確立します。教職員が心身ともに健康で、子供たち一人一人と向き合う時間を確保できるよう働き方改革を推進し、組織一丸となって教育の質の向上に取り組みます。

(4) よりよい生き方を見つめる心の教育の充実

子供たちが自己を見つめ、よりよい生き方を考え、道徳性を養うために、「道徳科」を中心として、心の教育を充実させます。さらに、授業で学んだ「頭での理解」を「心と体での実感」に変えるために、体験活動を充実させます。

(5) 個々の教育的ニーズに応える特別支援教育の充実

子供一人一人の特性や教育的ニーズを的確に把握し、その可能性を最大限に伸ばすためのきめ細かな支援体制を構築します。特別支援教育の視点を全ての教育活動の基盤に据え、誰もが安心して共に学び合い、高め合える「共生社会」の基礎となる教育環境を整えます。

(6) いじめ・不登校対策の推進

いじめ防止対策推進法に基づく「苓北町いじめ防止基本方針」のもと、いじめの未然防止や早期解消に向けた対策を総合的かつ効果的に推進します。また、互いにケアし合う関係を大切にした教育を充実させ、不登校の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。

3 ふるさと苓北の「人・海・文化」が育む学校づくり

苓北町の豊かな自然や歴史、そして温かい地域の人々は、子供たちの成長にとってかけがえのない教育資源です。学校・家庭・地域が目標を共有し、一体となって子供たちを育む体制を深化させます。

(1) コミュニティ・スクールを核とした「地域総がかり」の教育推進

学校運営協議会を中心に、地域住民や保護者が学校運営に主体的に参画する仕組みを強化します。地域の知恵や経験を教育活動に積極的に取り入れ、社会に開かれた教育課程を実現します。

(2) 郷土「苓北」を学び、愛するふるさと教育の充実

豊かな海や自然環境、歴史的な文化遺産などを活用した体験学習を推進します。地域の人々との交流を通じて、郷土への誇りと愛着を持ち、将来の苓北町を担う志を持った子供を育成します。

(3) 放課後等の多様な活動を支える地域教育力の活用

放課後子供教室や地域行事等において、地域のボランティアや専門家と連携した多様な体験の場を確保します。地域全体が子供たちの居場所となり、共に育ち合う環境を構築します。

4 多様な学びが響き合う「教育のまち・苓北」のネットワーク構築

町内の保育園、小学校、中学校、支援学校、そして高校が緊密に手を取り合い、家庭や関係機関と共に、苓北町全体で子供たちの学びと健やかな成長を多角的に支える環境を構築します。

(1) 保・小・中・高・支援学校の「顔の見える」連携と接続の強化

町内の保育園、苓北支援学校、天草拓心高校等とのパートナーシップを深めます。就学前から高校卒業まで、子供たちの成長のバトンを実実につなぎ、一人一人の個性に応じた一貫性のある教育・支援体制を確立します。

(2) 「家庭・学校・地域」が共に学び育つ支援体制の充実

苓北町PTA協議会等と密接に連携し、保護者が安心して子育てに向き合えるよう「親の学び」の機会を広げます。家庭教育の重要性を共有し、地域全体で子供を育む機運を高めます。

(3) 多様な学びの場を保障する「誰一人取り残さない」支援の深化

不登校児童生徒の学びを止めることなく、専門機関と連携した早期支援や、教室外・学校外での多様な学びの場を確保します。オンライン学習の活用や心のケアを充実させ、全ての子供が自分らしく学べる環境を町全体で保障します。

5 自分のよさを輝かせ、多様な人々と共にたくましく未来を拓く人材の育成

激しく変化する社会においても、自分らしく輝き続け、異なる価値観を持つ人々と手を取り合いながら、自らの人生と地域の未来を力強く切り拓いていく人材を育成します。

(1) 個性を磨き、自律的に学び続ける力の育成

一人一人が自分の「よさ」を発見し、それを自信（自己肯定感）と社会への貢献（自己有用感）へとつなげていけるよう導きます。生涯にわたって自ら目標を立て、粘り強く学び続ける「自律的な学習者」としての基盤を養い、社会の様々な分野で活躍できる「自立」した人間を育てます。

(2) 情報活用能力と創造的な知性の向上

膨大な情報の中から真実を見極め、収集・整理・発信していく力を、デジタル・シティズンシップ（情報の正しい使い手としての責任）と共に育みます。ICTを道具として使いこなし、新しい価値を創り出す創造的な思考力を高めます。

(3) 多様性を尊重し、共に生きる力の醸成

グローバル化が進む社会において、自らのアイデンティティを大切にしながら、異なる文化や背景を持つ人々と共感し、協働できる力を育てます。対話を通じて合意を形成し、より良い社会を共に創り上げようとする「共生」の精神を養います。

6 豊かな人生と活気ある地域を創る「生涯学びのサイクル」の構築

生涯にわたって主体的に学び、その成果を地域社会に還元することで、一人一人の人生がより豊かになり、町全体が活力を持ち続ける「学びの循環」を推進します。

(1) 人生100年時代を彩る多様な学習機会の提供

子供から高齢者まで、誰もが興味・関心に応じていつでもどこでも学べる環境を充実させます。現代的な課題や、生活を豊かにする教養・文化、スポーツ活動など、心身の健康と自己実現を支える多様な学びの場を創出します。

(2) 地域の知恵と文化を次世代へ繋ぐ「学びの継承」

苓北町が誇る歴史、伝統文化、地場産業などを学び、体験する機会を広げます。地域の達人や高齢者が持つ豊富な知識や経験を「町の宝」として次世代に伝える活動を支援し、多世代が交流しながら共に育つ場を広げます。

(3) 学びの成果を地域に生かす「参画と貢献」の促進

学んだ知識や技術を、ボランティア活動や地域課題の解決に生かせる仕組みを整えます。「学ぶ」ことが「誰かの役に立つ」喜びへと繋がり、誰もが地域社会の担い手として活躍できる、生きがいのある社会を目指します。

VIII 結び(未来への指針)

本大綱は、苓北町の子供たちが、ふるさとへの誇りを胸に、変化の激しい未来を自らの手で切り拓いていくための指針であり、町民皆様の生涯の学びを推進していくための指針でもあります。

教育は「百年の大計」と言われるように、その成果が目に見えるまでには時間がかかるかもしれません。しかし、子供や町民一人一人が「自分のよさ」に気づき、自律的に学び、多様な人々と手を取り合って進む一步一步が、やがてこの苓北町を、より豊かで活力あるものへと変えていく原動力となります。

新たに創生する義務教育学校を核として、家庭、学校、そして地域が「チーム苓北」として一体となり、子供たちの成長を支え抜く。その歩みを止めることなく、私たちは「人が輝き、地域が輝く、希望あふれる教育のまち」の実現に、総力を挙げて取り組んでまいります。

輝く未来は、子供たちの笑顔の先にあります。町民の皆様におかれましては、本大綱の主旨をご理解いただき、苓北教育のさらなる発展に向けて、温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。